

# 2026WORLD ROWING UNDER19 CHAMPIONSHIPS REPORT 1 (7/29,30)

7月29日(水)

U19世界選手権日本代表チームは、埼玉県戸田市での国内最終合宿を終え、いよいよ戦いの地、プロブティブ(ブルガリア)に向け、羽田空港から出発しました。選手団はイスタンブール経由でブルガリアのソフィア空港に向け飛び立ちました。

ご声援よろしくお願いします！！



後列左から、JM2x首田笙選手(富山国際大学)、JM2x一瀬弥満登選手(若狭高校)、  
JW1x梶ひまり選手(立教大学)、JM1x佐野天里選手(岡谷南高校)



日本ローイング協会福士理事長も羽田空港まで見送りに駆けつけ、激励のお言葉をいただきました。

7月30日(木)



約17時間の移動を終え、現地時間8:45頃にソフィア空港に到着。空港での出迎えと、プロブティブに向かうバスまでのご案内をいただいた大会スタッフの方



ソフィア空港からプロブティブ行きのバスに荷物を詰め込むU19世界選手権日本選手団。日差しが強く空気が乾いているのがブルガリアの第一印象でした。



広大なブルガリアの大地を高速道路でひたすら東へ。ソフィアからプロブティブへは、約2時間のバス移動でした。



空圧式コンプレッションブーツを使用して、長時間移動によるむくみなど脚部の疲労回復を図りました。



午後は時差調整も含め、ホテル周辺で軽めの運動を行いました。



夕食の様子。ボリューム満点の食事をもりもりいただきました。

夕食前のミーティングで、明日の動きを確認しました。明日はいいよ大会が行われるコースと、大会で使用する艇との対面となります。日中の強い日差しと暑さが予想されるので、体調にも十分注意しながら準備を行っていきます。